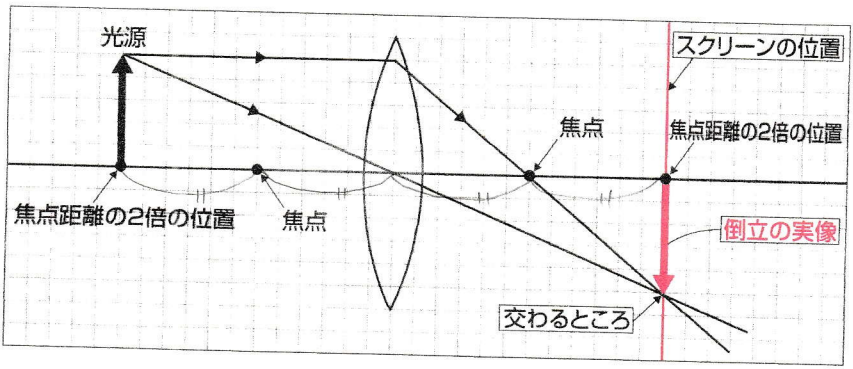


まず基本となるのが、光源を **焦点距離の2倍の位置** に置いた場合。  
ここは凸レンズに関する問題でもっとも重要なところなので、しっかりおさえておくこと。

① 焦点距離の2倍の位置に置いた場合



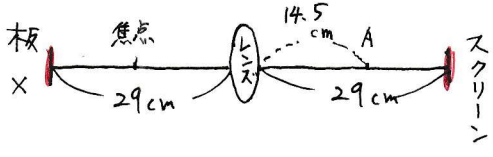
基本位置  
はこれだ!!

焦点距離の2倍の位置にスクリーンを置く。

↓  
鮮明な像が映ります。  
光源とは **上下左右逆さま(実像)**

↓  
さらに大きさは同じ!  
**実像の大きさ = 光源の大きさ**

実験2でいうと、表の 29.0 cm のところが基本位置ということ。



実験1より凸レンズの焦点距離は 14.5 cm とわかっているから、  
2倍の位置は 29 cm になる。

基本位置は、実像と光源は同じ大きさで、  
像の向きは上下逆である。